

◆企画名	春学期キャンパスツアー2023
日程	2023年3月27日(月) 10:30~12:50
場所	千里山キャンパス
参加者数	86名(ピア・サポータ6名、研修生6名、留学生74名)

## 目的

春学期から関西大学で学ぶ交換留学生を対象にキャンパスツアーを行うことで、関西大学への順応を促し、今後の充実した学生生活につながる支援を目的とする。さらに、KUブリッジの活動紹介も併せて行い、今後の開催を予定している企画イベントへの参加を呼び掛けることで、KUブリッジの活動の発展に寄与する。

## 内容

- 9:30 当日スタッフ、第2学舎A棟1階に集合。当日の動きについて最終確認を行う
- 10:15 第2学舎C棟前に集合(国際部と合流)
- 10:30 キャンパスツアー①開始。(各班所要時間60分)
- 11:30 キャンパスツアー①終了後、図書館前に集合し、記念撮影を行い、随時解散
- 11:40 キャンパスツアー②開始。(各班所要時間60分)
- 12:40 キャンパスツアー②終了後、図書館前に集合し、記念撮影を行い、随時解散
- 13:00 フィードバック後、解散



## 効果

- ・スタッフの人数が多かったので、余裕をもってキャンパスツアーを行うことができた。
- ・経路を3つに分けて、1グループの留学生の人数を少なくした点が良かった。
- ・いろいろな留学生と話すことができた。
- ・キャンパスツアー中に1人になっている人に、スタッフが積極的に話しに行くことができた。
- ・時間に余裕があり、休憩時間がとることができた。
- ・ルートが短くなったため、留学生が場所を覚えやすかった。
- ・スタッフそれぞれが留学生とまんべんなく話すことができた。
- ・1グループの留学生が少人数で一体感があった。
- ・スタッフの声掛けによって、留学生同士をつなげることができた。
- ・留学生とたくさん話せて盛り上がった。
- ・スムーズに進行することができた。

## 改善点

- ・人数確認を忘れてしまっていた。  
→各説明場所で人数確認を行うのを忘れないように、担当を決めておく。
- ・留学生と話しているときに、話の切り方があまり良くなった。  
→留学生に不快な思いをさせないように、話の切り方やタイミングを考えておく。

- ・原稿に留学生への投げかけがあるとよかった。  
→原稿にクイズや声掛けなど、留学生が受け身にならないような工夫をする。
- ・トイレの場所をきちんと把握しておくべきだった。  
→長期休暇中でも使用できるトイレを事前に調べて把握しておく。
- ・スタッフの資料として用意していたキャンパスマップが小さくて見にくかった。  
→キャンパスマップはA4サイズ1枚で印刷するようにする。
- ・原稿ばかり見て、アイコンタクトができなかった。  
→事前にある程度暗記をしておく。
- ・声が小さくて聞き取りにくかった。(アンケート結果より)  
→原稿担当の近くに集まるよう誘導してから説明をする。
- ・留学生への配布資料が小さくて見にくかった。(アンケート結果より)  
→A4サイズで印刷してもらうようにする。

## 感想

初めてのキャンパスツアーを経験するスタッフが多かったにもかかわらず、事前準備や打ち合わせをしっかり行っていたため、スタッフ間で連携をとることができたと思う。

また、前回の反省から、所要時間や紹介場所を改善したことでスタッフそれぞれに余裕が生まれ、その結果一人ひとりが積極的に留学生と交流をすることにつながり、良いキャンパスツアーを行うことができたと思う。

## 活動の様子

